

地 球

第 四 拾 卷 第 二 號

昭 和 五 年 八 月 一 日 發 行

主 要 目 次

圖 版 第 二 版 下 荒 洞 門 と 三 尾 大 島 の 粗 面 岩

戰 争 の 地 理 學 的 考 察 (十) 理 學 博 士 小 川 琢 治

津 山 盆 地 の 地 質 概 報 理 學 士 竹 山 俊 雄

宇 治 川 に 於 ける 侵 蝕 現 象 理 學 士 村 上 政 嗣

我 國 に 於 ける 地 形 圖 製 作 の 略 史 陸 地 測 量 部 高 木 菊 三 郎

新 譯 日 本 地 學 論 文 集 (四) ナウマン博士—日本、トルコ及び
メキシコに於ける地質研究 (下)

西 但 馬 海 岸 の 地 學 的 景 觀 理 學 士 石 川 成 章

地 質 斷 面 圖 の 幾 何 學 的 作 圖 法 (一) 理 學 士 上 治 寅 次 郎

地 理 教 材 と して の 地 形 圖 (第 二 輯、五) 富 士 五 湖 エ ッ チ ・ デ ・ バ ス ク 著
近 藤 堅 二 譯

伊 太 利 と こ ろ 文 學 士 瀧 川 規 一

新 著 紹 介

雜 報

質 疑 應 答

京 都 帝 國 大 學 內
地 球 學 團

地球第拾四卷第二號 (昭和五年八月)

目次

圖版 第二版 下荒洞門と三尾大島の粗面岩

戰争の地理學的考察(十)

津山盆地の地質概報

宇治川に於ける侵蝕現象

我國に於ける地形圖製作の畧史

新譯日本地學論文集(四) ナウマン博士—日本、トルコ、メキシコに於ける地質研究(下)

西但馬海岸の地學的景觀

地質斷面圖の幾何學的作圖法(一)

地理教材としての地形圖(第二輯、五)富士五湖

伊太利ところ

新著紹介

○北安曇郡郷土誌稿、第一 ○臺灣地質寫真集、第一集

○滿洲地誌研究 ○内藤博士頌壽記念史學論叢

○天然記念物調査報告(地質礦物の部)

理學博士 小川 琢治……二六

理學士 竹山 俊雄……二九

理學士 村上 政嗣……二〇

陸地測量部 高木 菊三郎……二〇七

理學士 石川 成章……二三

理學士 上治 寅次郎……二三

理學士 エッチヂェ・バクス著 近藤 堅二 譯……三三

理學士 文 瀧 川 規 一……三四

○朝鮮慶北仁同に落下した隕石 ○印度の關稅改正の結果

○英帝國關稅同盟問題 ○伊太利カララの大理石

○シベリヤの天然曹達湖 ○トルキスタン、シベリヤ鐵道

○高等教員地理科試驗問題

質疑應答

○濟南の經濟事情

雜報

地球學園規約

第一條 本學園を地球學園といふ。
 第二條 本學園は地球に關する學術的研究を進め兼て同好の士の親睦をはかるを目的とする。
 第三條 事務所を京都市白川追分町京都帝國大學地質學教室内に置く。又會員が多い地方には支部を置く事がある。
 第四條 本學園の事業は次の如くである。
 雜誌並に圖書の刊行
 講演並に講習會の開催

第五條 本學園員は地球購讀者として一年分六圓又は半年分三圓を發行所へ前納すること。
 第六條 本學園員になりたい人は、住所職業氏名を申込み、同時に地球購讀者半分以上を、發行所へ送金する事。
 第七條 學園を脱退しやうとする者は、其の旨を學園に通知すること。

注文規定

- ① 購讀者の御注文及び廣告に關する件は博多成象堂へ御申込下され度候
- ② 本誌の御注文代金郵税共すべて前金にて御送り下され度候
- ③ 郵券代用にての御注文は一割増に願上候
- ④ 振替貯金にての御注文は「振替大阪七愛參番、東京五貳六〇七番」博多成象堂に願上候
- ⑤ 前金切れの場合に「前金切」の印章捺致すべきに付直に御申込下され度候
- ⑥ 特に請求書及領收書等を要する場合は郵券參錢御送付下され度候

定價

一册	定價金五十錢	郵税金壹錢
六册(前金)	定價金參圓	郵税不申受
十二册(前金)	定價金六圓	郵税不申受

特大號定價の差額は別に申受候

廣告料

一頁 金五十圓

昭和五年七月二十五日印刷納本(第拾四卷) 定價金五拾錢
 昭和五年八月一日發行(第二一號)

不許複製
 禁轉載

發行所

博多成象堂
 大阪市南區大寶寺町西之丁貳拾貳番地
 電話特南壹堂七七番

發賣所

博多成象堂
 東京市神田區錦町三丁目拾貳番地
 大阪市南區大寶寺町西之丁貳拾貳番地

所 捌 賣

(東京) 東京堂 東海堂 東館
 (大阪) 北隆館 盛文館 寶文館
 (神戸) 大盛社 川瀨書社
 (京都) 共盛社
 (名古屋) マガジン 川瀨書社 星野書店

編輯者 京都帝國大學 地球學園
 右代表者 藤田元春
 發行所 大阪府西區大寶寺町西之丁貳拾貳番地 博多久吉
 印刷者 大阪府西區阿波羅中頭二丁目四番地 井下精一郎
 印刷所 大阪府西區阿波羅中頭二丁目四番地 井下書籍印刷所

CHIKYŪ THE GLOBE

Vol. XIV. No. 2.

August, 1930.

PLATE 2. — Sea-Cave of Shitara and Trachyte of Oshima,
Tajima Province.

Geographical Consideration of the War. (10) By T. Ogawa, <i>R. H.</i>	81
Geology of the Tsuyama Basin, Mimasaka Province By T. Takeyama <i>R. S.</i>	91
Erosion in the River Uji-gawa, Yamashiro. By M. Murakami <i>R. S.</i>	101
Epitome of the History of Topographical-Map-Making in Japan. By K. Takagi	107
Materials of the Geological and Geographical Studies on Japan. (4)	117
Geographical and Geological Notes of the coastal Region of Tajima. By S. Ishikawa <i>R. S.</i> and T. Ueji <i>R. S.</i> ...	122
The Geometrical Construction of Earth Flexures in Geological Section. Translated by K. Kondō, <i>R. S.</i>	131
Topographical Maps recommended for Schools. (II,5) ...	139
Glimpses of Italy. (8) By K. Takikawa, <i>B. S.</i>	144

New Books—Geographical Notes—Inquiries.

Chikyū Gakudan

Kyōto Imperial University.